

第二中学区

1 はじめに

「小・中9年間を通して、釈迦内地区の子どもたちの健やかな成長を支援するために」を研究テーマに設定し、共通実践事項の洗い出しとその実践に重点を置いて連携強化を目指した。

2 今年度の取組

月 日	実 践 内 容	月 日	実 践 内 容
4月～	登校指導および挨拶運動	9月 1日	小・中交流会① 於：第二中 (6年生授業参観, 授業体験, 集会活動, 部活動体験)
6月～	ひまわりプロジェクト		
6月 1日	連携委員会① (事業計画作成, 部会開催について)	11月15日	第2回小・中連携研究会 於：第二中
6月28日	第1回小・中連携研究会 於：釈迦内小	12月16日	小・中交流会② 於：釈迦内小 (小学生と中2との交流)
7月 5日	保護者対象中学校説明会 於：釈迦内小6年部PTA	2月 3日	第二中入学保護者説明会
		3月28日	連携委員会②

3 活動の実際

(1) 小・中連携研究会 (①6月 ②11月)

いずれの研究会でも、授業・帰りの会を参観した後に話し合いの機会を設けた。話し合いは、共通性と小・中の連続性の二点に焦点化して分科会形式で実施した。その結果、共通性として「あいさつ運動」と「漢字検定の協同実施」を、連続性として「家庭学習も含めた学習習慣」働くことと将来設計に重点を置いた進路指導「ローマ字の定着」「個別支援カードの活用」が見い出された。2回目は、「望ましい生活習慣の確立のために共通実践できることは何か」という視点で研究会を実施。市教研保健部会が取り組んだ調査研究資料をもとに話題提供していただき、学区の子どもたちのライフワークの問題となる部分について考察した。睡眠の大切さについての認識を深めた。



(2) 小・中交流会 (①9月②12月)

6年生が中学校を訪問し、授業参観、授業体験、そして集会活動や部活体験を通して進学への期待を高めることができた。また、12月には、中学2年生全員が小学校の町内児童会に合わせて訪問し、各町内ごとに自分たちの作成した防災マップをもとに地区内の危険箇所等について説明を行った。

(3) ひまわりプロジェクト

小学校発のプロジェクトを中学校との連携へと発展させた。今年度は、ひまわりの植栽、ひまわり油の販売戦略などで連携を実施。地域との連携の基礎となるキャリア教育でもあるため、今後も連携の継続と共通実践事項を模索していきたい。

4 おわりに

「一小一中共通学区」の利点を生かして、小学校と中学校の共通性と連続性の洗い出しを行い、共にできることを模索したことで、一歩前に踏み込んだ連携に取り組むことができた。研究会を通じての教師の連携、交流会を通じての子どもたちの連携、そしてひまわり油を通しての地域との連携と、一定の成果が見い出された。今後の更なる深化・発展を意図することで連携研究会をより有意義な会に高めていきたい。